

成人向



BUSUJIMA
毒島 Break

break [bréik]

(毒島先輩を)

壊す。
狂わせる。
切断する。
壊す。砕く。
乱す。
中絶する。
破滅させる。
犯す。折る。
引き千切る。



以下の諸注意を本書の内容を認識する前に一読し、了承した上で本書をお楽しみ下さい。

本書は、

◎へたではあっても想像に基づく表現行為です。

◎現実の人物、団体、事件とは一切関わり合いがありません。

◎一部もしくは全部に『頭悪いなぁ』『変態だ』『死んだら?』と思ひ浮かぶ方がおられる可能性のある表現が含まれているかもしれませんが、著者には犯罪等の反社会的行為を教唆・礼賛・賛同する意図はありません。

◎あらゆる表現行為に理解のある心の広い大人の方のみを読者として想定して描かれております。もちろん、成人向けですので保管の際にはこの点を十分留意して下さい。

◎価値観の相違が許容できない方、創作物などの表現媒体が犯罪等を誘発する主要な要因であると考えている方、発行物の内容がそのまま著者の社会的性格であると判断してしまう方の閲覧及び所持は一部であってもご遠慮下さい。

◎本書の内容を認識している方は、以上の点について友好的で誠実に了解しているものとします。

それでは、束の間の脳内散策をお楽しみ下さい。



後から考えてみれば
心のどこかで期待
していたのだろうか



やはり私一人で
十分だったな



これで当分は
時間が稼げる
ことだろう

いやーとても
助かりました
せめてもの
お礼としてあちらに
食事の支度が
できています
それと風呂も
用意致しました

カコーン
女

思いのほか
美味だった
食事の後に
広い浴場とは

今がどのような
状況なのか
忘れてしまい
そうになるな

ん？

人の気配が
したような…

まさか私が安らぎを
求めるようになるとは
これもきつと彼の…

ヒョクッ



曲者！

何かおかしいと
思っはいたが
そういうこと
だったのか！

人のまま狂って
しまう連中は
これまでも多く
見てきたが…

いい年をした
大人が情けない
話だな

いニョッ

ガッ

ギョ

だが

私はキミ達と共に
狂うつもりはない
残念だったな

そんなことはないぜ
牙子さんは俺らと
一緒に狂うこと
なるのさ！

ガニッ



はい
捕まえた!

なんだ?
急に休から
力が抜けた!

へな

へな

腕は立つけど
ちよろいもんだな

飯に薬が混ぜられてい
ることに気づかない
なんて間抜けすぎるぜ?
そもそも自分の価値に
気付いてなかった
ようだけどな

この程度の
薬で私が...

人類の危機だと
いうのに己の欲望を
優先させるとは
卑劣漢にも程がある!
恥を知れ!

まさかこんなところで
最低な男達の性処理を
させられるのか...

人類だからこそ
の対応なんだよ
こっちは女に飢えて
限界だったんだ
必死なんだよ!

想像以上に
エロい
乳と尻だぜ

奴らを倒してくれて
更に下の世話まで
してくれるなんて
最高だぜ冴子ちゃん!



今の状況を
考えたまえ!
万が一妊娠したら
どう責任を取るのだ

そっちこそよく
この状況で
そんなこと
考えられるね
クールだなあ



止めろ!
触るな!



避妊処置も
せずに挿入
する気か?



わかったよ!
奴らに襲われるよりは
マシだと考えるさ!
好きにすればいい
だがこのことは
決して忘れないぞ!

怖いなあ...スツキリ
したら帰してやるって
俺たち同じ人間だろ

こんな下種共を助けるために
単身乗り込んできた自分の
愚かさを呪いたいよ
私は間違いないく孕まされる...



せめて無事に
俺らから解放されたい
とか考えないの?

くっ...

ではお互い合意の上でのセックスってことで気兼ねなくいくぜ!

バカを言うな! 薬で弱らせておいて解放を条件に犯すこと合意する女などいるものか!

だが満足させねばならないことは承知している!

おっとスマンね 久々だから がつがついちゃうぜ

もっと抵抗するかと思えば意外としおらしいな

くうう! もっと優しく 抜ってくれ!

二日:いや 半日の我慢だ この程度屈辱なら耐えられるはず



……おかしい
これは一体
どういふこと
なのだ。私は
犯されてるの
だからだぞ

んひい!
んひい!

ズブッ
ズブッ
ズブッ

んぐう
んぐう

見ず知らずの性根の腐った
男達に代わる代わる
犯されているというのに

私の体は男をベニスに
受け入れている!!

ぢゅるっ

やべえ!話通りだ
凄く締め付けてくるぜ!
冴子も気持ちよく
なってきたな?
根元から
先っぽまで
ギューギューだ!

ズブッ

ち、違う!

そんなバカな
話があるか!
私は断じて!

ズブッ
ズブッ

ズブッ

……私も……限界だ!

俺ももう
限界だぜ!

カチカチ
ポポッ

ありえない!!
尊敬もできない
獣のような男達に
凌辱されて感じるなど……

信じられないが、
感じている?
しかしなぜ?



嘘だ…
こんなこと
嫌だ…

冴子さん
妊娠おめっ

あ…
ああ…

奥の奥まで蹂躪された
あの感触…間違いない

ガク
ガク



今日は危険日
だったのだぞ…
それなのに
何度も出すなんて

子宮の奥に注がれた
男たちの精子が
私の卵子を征服した…

んひい！
なぜ中でハメたまま
射精するのだ！

冴子が危険日だって？
やべっ！更に興奮して
また射精しちゃうよ！

ド
プツ

注がれている！
私の膣内を
勢いよく流れ
子宮まで精子が
届けられている！

私の中で
熱いモノが
たぶついて
いる…

確かに着床した
受精してしまったぞ
私の卵子は完全に
犯されてしまった

このまま無事に
生き残れば
来年の夏に私は
汚れた母親になる

ここまで好きなように
私を穢したのだ
もう満足だろう？
約束通り
解放してくれ

何を言ってるの
冴子さん

ここにはまだ
これだけの男が
いたのか...

まだまだ
相手して
くれないと
困るよ

これだけの男子が
いながら
女一人に助けを
求めたのか？
恥を知れ！

キミらには失望した
やむを得ない
生理的事情だからと
許すつもりだったが...

俺ら知ってるんだぜ？
趣味が弱いものイジメで
しかも露出狂のサド女が
何をえらそうに！

空いてる穴も
全部使っちゃおうぜ！

穴ってまさか
や、やめろ！

尻の穴は昔から
独りになると
ついいじって...

へへ、何ビビってんだ？
まさか冴子も
気の強い女は何とかって
奴なのか？

蕩ける！

ひびっ

ヌホッ

アホッ

ズッ



私は所詮ただの女で弱く脆い肉の塊にすぎないと自覚させられる感覚!



全身が貫かれるような圧倒的な敗北感!



違う! 蕩けるのだ!



奴らを薙ぎ倒していた時にだけ味わうことができた快感よりもずっと強い感覚!

私は敗者であることを悦んでいる?



頼む! 抜いてくれ!

あっああっ おかしくなるう

排泄用の穴を性処理に使われる屈辱で脳が震える



力づくで屈服され犯され孕まされる

私は牝豚のように扱われて絶頂するのにか



あぐう! 扶られるう 尻がめくれる!

そうか! 私には本当は倒すより倒されたいと! 自立ではなく寄生を望んで!

同時に奥までくると壊れてしまう!

あふう
ちんぽお

臭いな
臭いチンポ
悪くないぞ

体だけでは
頭も火照ってきた

勃起チンポで
私の全てを破壊
してくれ!

再度固くなった
チンポで私を
凌辱するがいい

もう止められない
私は淫乱な女なのだ

ほんの一瞬の途瀬なら
何の問題ないはずだ

子を孕んでしまった
可能性は高いがそれも
絶対ではない...だから

はひい!
またイク



だが私は
この地から
離れなかった

美味しい
かい？

目がな一日
こうしてチンポを
おしゃぶっている

んぶっ
んぶっ
んぶっ

んぶっ
んぶっ
んぶっ

今日も最高に
美味だよ

いくら飲んでも
キミ達の精液は
飽きないな

俺らもいくら
射精しても
冴子さんには
飽きないぜ！

キョッ

キョッ

ビビッ
ビビッ

コソッ
コソッ
コソッ

私は彼らの用心棒兼
性処理便器として
ここで飼われている

私はこれまで
気付かないフリを
していたのだらう

まったくこの元気を
奴らにぶつけて
くれれば私も
楽になるのだがな

それは無理!
だって怖いもん



終わりのない
戦いを続けることの
虚しさから逃げていた

キミは本当に
情けない男だな
だが正直でいい

あぶう

だが今は違う
終わりの後にある
続きを見つけたのだ

褒美に直接
啜えてやろう

千尋



私は生きている限り
キミ達の子を産むよ

ニムッ♡

どのような形であれ
人類を絶やさないこと
それが私にできる
最も大切な戦いなのだ

彼らの熱い想いを
全身で受け止める悦び

ぢゅっ

はぶぅ…美味しいな
濃い精液は最高だ

ぢゅっ
もももも

今の私には彼らの
性処理便器であること
以上に崇高な行為なんて
考えられないのだ

さあハメてくれ

次はキミの子を
産んでみたいものだ

妊娠してからの私は
以前にも増じて淫乱な
牝になってしまった

いいっ

子宮が疼く！
嬉しくて
震えているよ！

すぐにでも
イってしまおう
良いものだな

ズポッ

ぐに

ぐに

チンポ無しでは
正気を保てないほど
彼らに依存している

どうした遠慮せず
動いていいのだぞ？

ズポ
ズポ

二人だけで
楽しむのは
禁止だぞ

そうだったな
申し訳ない
ことをした

キミも好みの
私の穴に
チンポ入れてくれ

突き刺さる！

はひい
子袋の奥に
届いてるう！

ありったけの
精液を私の中で
放出してくれ！

犯されるう！

意識のある限り私は
彼らの望むように
体を提供し続けた
失神し気絶し意識を失う
その瞬間が最も幸せな
瞬間になっていたのだ

彼らは万一私が
敗れ戦えなくなれば
奴らに怯えながら
死んでいくしかない
憐れな連中なのだ

ここに来たばかりの
時は凛としていて
近づきたい雰囲気
だったのに落ちたもんだ

私はそんな彼らを守り
更に性処理を行い
子供まで孕んでやる
つまり彼らの母であり
愛人であり妻なのだ

今や単なる
ちんぼ中毒の
牝豚だもんな

んんぐ
んんぐ

臨月を迎えた私の子宮への
大量射精は何度されても
飽きない最高の快樂だ

ふあああ！
冴子の中は
気持良すぎる！
何度でも中出し
しちゃうぜ！

今の私は間違いない
世界三幸せな女だろう

大変だ！
奴らがまた
接近してきたぞ！

ゴッゴッ

折角のチンポ三昧の
平和な日々を邪魔
するなど今まで以上に
許せないよ

早く片付けて
また私の穴という
穴に射精して
もらわねば

もはや貴様らを
倒すことには
何の快楽も
感じ無いのだ!

せりゃー!

フン!





これでまた
しばらくは
エッチに
専念できるぞ

今夜は全員を
相手にたっぷりと...

あらかた
片付いたな



やめろお!
私のお腹には
赤子が
もう出産寸前
なのだ!

せめて産んで
あげてから私を...

そこはダメだ!
た、助けてくれ!

誰か...誰かああ!
いやああああっ!

毒島 Break
To be continued ?
—————→

妊娠した直後から
私は自分でも驚くほど
男達の出す精液が
好きで好きで
たまらなくなつて
しまつていた

昨日は三十人分の
精液を全て飲み干したぞ
先週一週間は穴という穴に
射精され続けほとんど毎日
気を失つたまま精液便所と
なつていたのだが最高に
幸せな一週間だった

君たちも彼らと同じ
くらい私を射精専用の
ポテ腹肉便器として
飽きるまで使つて欲しい
発狂しようがそのまま
息絶えようと構わない



さあ、今夜も
存分に君たちの
子種を私の胎内に
注ぎこんでくれ！

遠慮はいらない
私も待ちわびて
いたのだからな



んけまこ♡
可.素胸しい♡
特濃ザーメン
美味くて臭くて
最高のぞ
もっと、もっと
グッ、かけこ...♡♡

ズン♡
ズン♡
ズン♡

ズン♡
ズン♡
ズン♡

ズン♡
ズン♡
ズン♡

ズン♡
ズン♡
ズン♡

ズン♡
ズン♡
ズン♡



ああ：君らを射精させる
為だけに私は生きている
という感覚：最高だよ
私の肉穴は全て君たちが
気持よくなる為の道具だ

汚く醜い便器牝豚に
なった私でもチンポ
勃起してたっぶり精液を
出してもらえるんだな
嬉しいよ！

生きているだけでも
幸せだという時代に
私は更に人の役に
立っているのだ：
これからも誇りを持って
たっぶり妊娠していこう

ちゃおん
ちゃおん

しゅん
しゅん

んんん

しゅん

んん

んん

んん

んん

んんん

初めまして&毎度どうも野晒傭です。

最後までご覧頂きましてありがとうございました。

今回はタイトル通りの毒島先輩オンリー本

となりました。以前からことあるごとに

描きたいと言いつけてきてようやく実現しました。

最近の僕の好みなのかこの作品も

「原作が一番エロい」タイプのものですが、

いかがだったでしょうか？

強くて脆い毒島先輩に見せて欲しい

ところを描けていると良いのですが。

なお今回ラストページにありますように
できれば続きを描きたいと思ってます。

こんな所でネタバレもあれですが

毒島先輩死んでませんので(汗)。

原稿何度も見返していたのですが、

「あれ？もしかしてこれだと

先輩食い殺されたと勘違い

されるのでは？」と気づく

のに結構時間かかりました(汗)。

ともあれ先輩には幸せになって

欲しいものです。あとアニメの

三期もお願いします(笑)。

野晒 傭

奥付 毒島 Break DL版

発行 のざらし 発行者 野晒傭

DL版 2011年5月発行

連絡先

HP <http://www.seri.sakura.ne.jp/~domo/g18c>

PIXIV <http://www.pixiv.net/member.php?id=7618>

MAIL nozarasi_s@mail.goo.ne.jp

twitter http://twitter.com/nozarasi_s

成人向

BUSUJIMA
毒島
Break

break 【bréik】

(毒島先輩を)

壊す。
狂わせる。
切断する。
壊す。砕く。
乱す。
中絶する。
破滅させる。
犯す。折る。
引き千切る。